

公表

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Atelierみるく首里		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	令和7年2月4日		～ 令和7年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月19日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・音楽や美術など、児の得意なことや好きな芸術活動を通して5領域の発達を支援することができる。	・芸術を専門に経験を積んできた職員と療育の専門職員が協力しながら、児の支援に当たること。	・芸術の専門性を担保しながら療育の専門性の質も上げていく為、全職員に対し発達講座等の研修を行い、資質向上に努めている。
2	・不登校児の受け入れができる。	・関係機関連携や保育所等訪問支援を併用し、学校機関との連携を強め、通所を登校扱いにして頂くなどの配慮を求めていることができる。 ・児の特性に配慮し、安心安全な環境を保障しながら、無理なく学校へ復帰できるように段階的に支援する。	・今後も各学校との信頼関係構築に努め、連携を密に取りながら児の成長発達を支援する。
3	・地域や民間団体との連携を図り、インクルーシブを進めている。	・バレー教室やボルダリングジム、農園等との業務提携をし、地域移行やインクルーシブを促していく。	・事業所内においても交流クラスを設置するなど、多様性を認め合うインクルーシブな活動を取り入れている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎サービスがない為、保護者の送迎の都合が悪く、欠席する場合が多い。	・送迎サービスは今後も提供する予定は無し。 ※保護者が毎回送迎することで、職員と保護者が対面し、相談業務にも速やかに細やかに対応できる等のメリットがあるため。	・可能な限り振替日での支援を提案できるよう柔軟なスケジュールで対応する。
2	・保護者同士が交流する機会があまりない。	・保護者会の活動がないため。	・事業所主催の保護者の学習会を毎月開催し、保護者同士の接点を多くしていきたい。 ・今後保護者の交流会等、負担なく開催できるか検討する。
3			